

改革工程表2(年度別実行計画)

団体(会計)名及び部局・課名	医療大学付属病院特別会計	保健医療部保健政策課
改革遂行責任者	保健医療部長・保健政策課長 総務部長・財政課長	

改革方針	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
<p><b>【1 付属病院の基本的方向の検討】</b> ○大学の付属施設としての機能強化及び県内リハビリテーション医療の中核的機能の充実を図る。</p>	第二期医療大改革プラン(H29～R8)の推進				
	法人化に向けた検討				
<p><b>【2 アクションプランの推進】</b> ○大学と病院一体として効率的・効果的に運営していくとともに、アクションプランに基づく経営改善を推進しながら、収入を確保し、経費節減に努め、収支の改善を図り繰入金を縮減していく。</p>	第3次プランの検証と第4次プランの策定 (フィードバック)				
	第3次アクションプラン(H31～R4)の推進・進行管理			(仮)第4次アクションプラン(R5～R6)の推進・進行管理	
	繰入金の縮減				
<p><b>【教育機能の充実】</b> 教育研修体制の充実によりリハビリテーション専門医を養成するため専攻医(旧後期研修医)の受入れを拡大し、あわせて患者数の確保による経営改善を推進する。</p>	<p>(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す ・教育研修体制の充実</p> <p>目標: 専攻医の受入れ拡大(令和4年度までに5人)</p> <p>(目標)3人 [4人]</p> <p>(目標)4人 [4人]</p> <p>(目標)5人 [5人]</p>			<p>(仮)第4次アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す</p> <p>(目標)教育研修体制の更なる充実</p>	
<p><b>【政策的なリハビリテーション医療の推進】</b> 365日リハビリテーションの維持向上により、リハビリテーション医療の充実を図る。</p>	<p>(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す ・患者1人あたりのリハビリテーション実施単位数の向上</p> <p>目標: 回復期病棟における患者1人あたり実施単位数7単位 障害者等病棟における患者1人あたり実施単位数4.9単位 リハ実施単位数の向上(365リハによるリハ医療の向上)</p> <p>[回復期病棟(3A) 6.90単位] [回復期病棟(3A) 7.17単位] [障害者等病棟(2A) 5.03単位] [障害者等病棟(2A) 5.14単位]</p>			<p>(仮)第4次アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す</p> <p>(目標)リハ実施単位数の更なる向上</p>	
<p><b>【経営改善の推進】</b> 地域医療連携の充実強化を図り、急性期病院及び地域の医療機関等からの患者の確保に努める。</p>	<p>(第3次)アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す ・病床稼働率の向上</p> <p>目標: 病床稼働率(全体)85.5%</p> <p>[80.3%] [75.7%]</p>			<p>(仮)第4次アクションプランに基づき計画目標の実現を目指す</p> <p>(目標)病床稼働率の向上</p>	
	急性期病院との「脳卒中地域連携パス」の運用、急性期病院への空床情報の提供、急性期病院及び地域の医療機関との意見交換				

※ は改革期間及び推進事項を表示 ※ は改革期間及び推進事項の修正 ※ [ ]は目標達成状況、【 】修正後の目標を表示